—ボス、ヘスス オネストの調査の最も重要性はここにないと私は確信します。その人物がどのような生活をしているかを会談し記述したにすぎません。最も重要なのは他です、見たこと、聞いたことで、記述していないところが重要です。
—そう、私にもそう思える、私達はカメラマンと話してみなくてはね。その...今、思い出せないけれど、何と言う名前かな。
—チェマ エステベス。
—その通り、その後でヘススがインタビュした人物と話合いを始めよう、君は会ってみる？
—良いですね、今直ちに写真家を探し当てましょう。
午後８時少し前にチェマ エステベスが事務所にやって来た、背の低い若者で、ひげをはやし、長い髪でカールをしている。ペペは彼に色々な質問をした。その人物達はどんな風に見えたか、彼等は空いた時間に何をしていたか、何処に宿泊していたか、何か問題を持っていたか、チェマの答えはヘススの記録と一致した、全て問題は無かった。
—ずっと君たちは一緒にいたのですか？
—ええ、そう、ほとんど、でも一夜ホテルで、私は一人の女性と知り合いになって殆ど一日彼女と一緒でした。然し、編集長については何も話していません、ええ。
—ご安心を、ではあの日のヘススの行動について何かありませんか？
—ええ、真実何も知りません、ブルニルダ ボン ワグネル、貴族ですが、会う約束が有りました、その後、続いてインタービをしようと、アラブの長老と会うことを望んでいました。
—ヘススの資料にはブルニルダも長老についても記載は無かった・・。不思議だな！